

企画展

植物標本のタネは地域の自然を救う!?

時を越えて発芽する 植物標本のタネ

2017年11月11日(土)~2018年1月28日(日)

博物館の標本庫には100年以上前のものから近年のものまで、絶滅が危惧されている植物を含む数多くの植物の標本が収められています。標本にはタネ(種子)が残されているものも数多くあり、その中には休眠状態で今も生きているタネがあることが調査の結果分かってきました。もしかしたら、これらのタネを集めて蒔くことによって、ある地域で絶滅してしまった植物や、減少してしまった遺伝的多様性を回復させることができるかもしれません。

この展示では、標本を用いた植物の保全に関する最新の研究成果をご紹介します。



標本のタネの多くは
生きていた



タネを用いた植物の保全

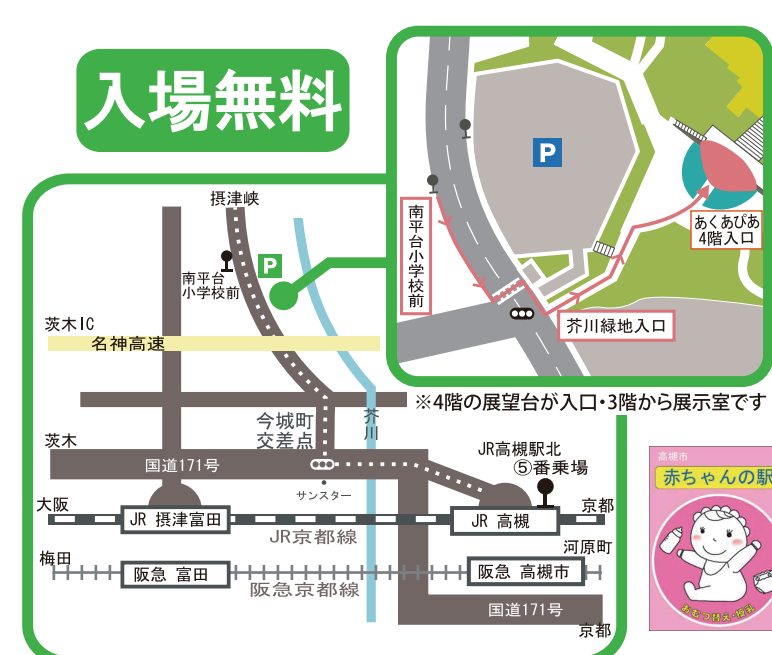


絶滅危惧種の標本の
タネも生きている

高槻市立自然博物館

あくあぴあ 芥川

開館時間:10:00~17:00
休館日:月曜日
(月曜が祝日の時はよく平日)
年末年始(12月28日~1月4日)



- 市営バス:JR高槻駅北⑤番乗場
「関西大学」「平安女学院大学東」行「南平台小学校前」下車すぐ
- 芥川緑地駐車場:利用料金 普通自動車1時間100円
(※3時間を超えたときは400円上限)
利用時間 8:00~18:30(6月~9月は19:30まで)

主催:高槻市立自然博物館(あくあぴあ芥川)

〒569-1042 高槻市南平台5丁目5番1号 TEL 072-692-5041 FAX 072-692-7864 E-mail info@aquapia.net あくあぴあブログ <http://www.omnh.net/aquapia/>

協力:大阪市立自然史博物館、新潟大学教育学部

この企画展は、文部科学省科学研究助成金(課題番号23701024、26350387)の支援を受けて行った研究成果の一部を使用しています